

船舶事故調査報告書

平成29年4月27日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（波高観測塔）
発生日時	平成28年7月31日 04時05分ごろ
発生場所	鳥取県米子市淀江漁港西方沖 淀江港沖防波堤灯台から真方位262° 1.8海里（M）付近 （概位 北緯35° 27.6′ 東経133° 23.2′）
事故の概要	プレジャーボート ^{しまばらこうむてん} 島原工務店丸は、北西進中、波高観測塔に衝突した。 島原工務店丸は、船長及び同乗者1人が負傷し、船首部の圧壊等を生じ、また、波高観測塔は、点検用はしごに曲損等を生じた。
事故調査の経過	平成28年8月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート 島原工務店丸、2.0トン TT3-9035（漁船登録番号）、個人所有 6.27m（Lr）×2.18m×1.12m、FRP ディーゼル機関、62.50kW、平成17年8月 第272-22423号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 68歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成17年10月20日 免許証交付日 平成27年9月8日 （平成32年10月19日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）、軽傷 1人（同乗者）
損傷	本船 船首部の圧壊、船首部ハンドレールに曲損等 波高観測塔 点検用はしごに曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時 日出時刻：05時14分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、法定灯火を表示し、平成28年7月31日04時00分ごろ島根県松江市美保関港 ^{みほのせき} 南方沖の釣り場に向けて鳥取県 ^{ひえづ} 白吉津村の係留地を出発した。

	<p>本船は、淀江漁港西方沖を約10ノットの対地速力で北西進中、船長が、操舵区画右横の通路上に立ち、同区画右舷側の窓を開け、窓越しに左手で舵輪を持った姿勢で操船していたところ、04時05分ごろ波高観測塔に衝突した。</p> <p>同乗者は、操舵区画後方にあるハッチに腰を掛けていたところ、衝撃で前方に投げ出され、操舵区画内にあったGPSプロッターで顔を打った。</p> <p>同乗者は、前部甲板の右舷側で倒れていた船長に気付いて駆け寄ったものの、意識がなかったので、海上保安庁に本事故の発生を通報した。</p> <p>本船は、本事故の発生を聞いて駆けつけた船長の家族が操船し、自力で航行して係留地に戻った。</p> <p>船長及び同乗者は、救急車で病院に搬送され、船長が頸髄損傷、歯突起骨折、頸椎骨折と診断されて入院し、同乗者が右眼下骨折、鼻骨骨折、肋骨多発骨折等と診断された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船、写真2 波高観測塔参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、本船の船長として平成17年ごろから経験があり、本事故発生場所付近を航行した経験も豊富であった。</p> <p>船長は、本事故当時、健康状態に問題はなかった。</p> <p>同乗者は、少し左を向いて半身の姿勢でハッチに腰を掛け、顔だけ船首方に向けてGPSプロッターの画面を見ていた。</p> <p>船長及び同乗者は、会話をしていなかった。</p> <p>船長は、船首鳥居型マストに取り付けた探照灯を点灯して係留地を出発したものの、他船の見張りの妨げになると思い、本事故当時、同探照灯を消灯していた。</p> <p>波高観測塔に設置された標識灯は、灯色が黄光、灯質が毎4秒に1閃光、光達距離が5.5kmで、灯高が海面から約7mであった。</p> <p>船長は、搬送先の病院で意識が戻り、係留地を出発した頃の記憶はあり、右舷側の漁船を見ていたような思いはあるものの、本事故当時の記憶を失っている。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>本船は、淀江漁港西方沖を北西進中、波高観測塔に衝突したものと考えられるが、船長が本事故当時の記憶を失っていることから、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が淀江漁港西方沖を北西進中、波高観測塔に</p>

	衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。

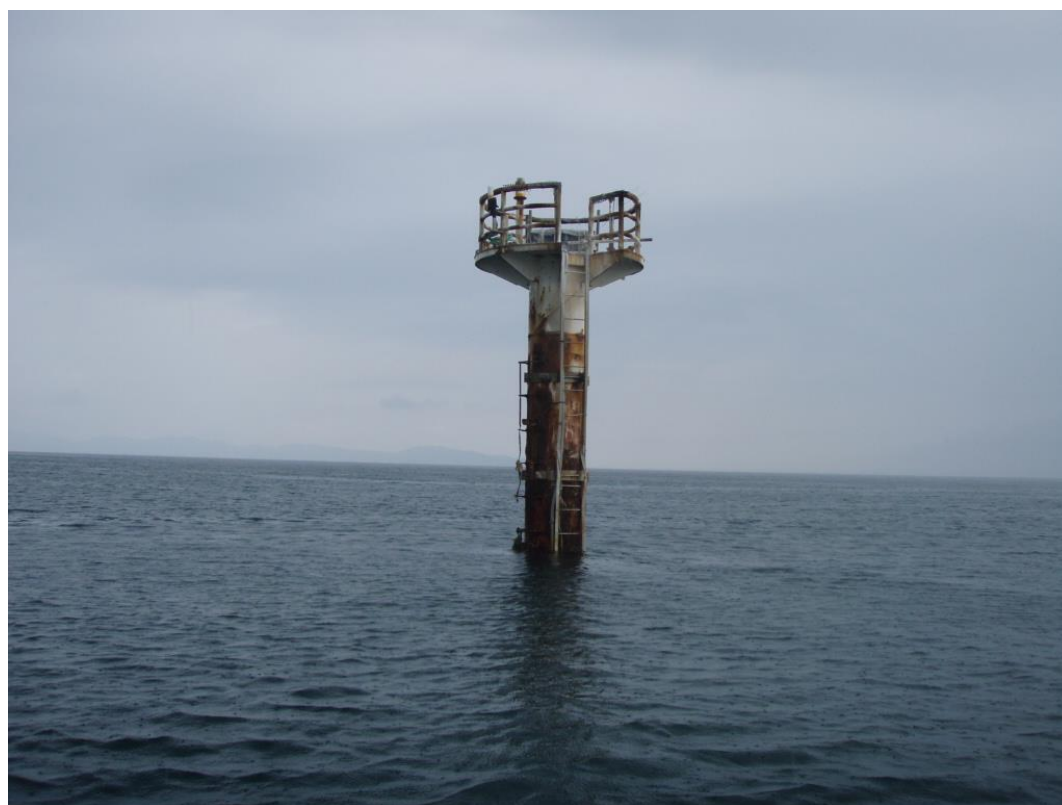
付図1 事故発生場所概略図



写真1 本船



写真2 波高観測塔



(中国地方整備局日野川河川事務所提供)